

9.

スペイン風邪に起因する 偏見・差別は？

▶ スペイン風邪への当時の政策は？

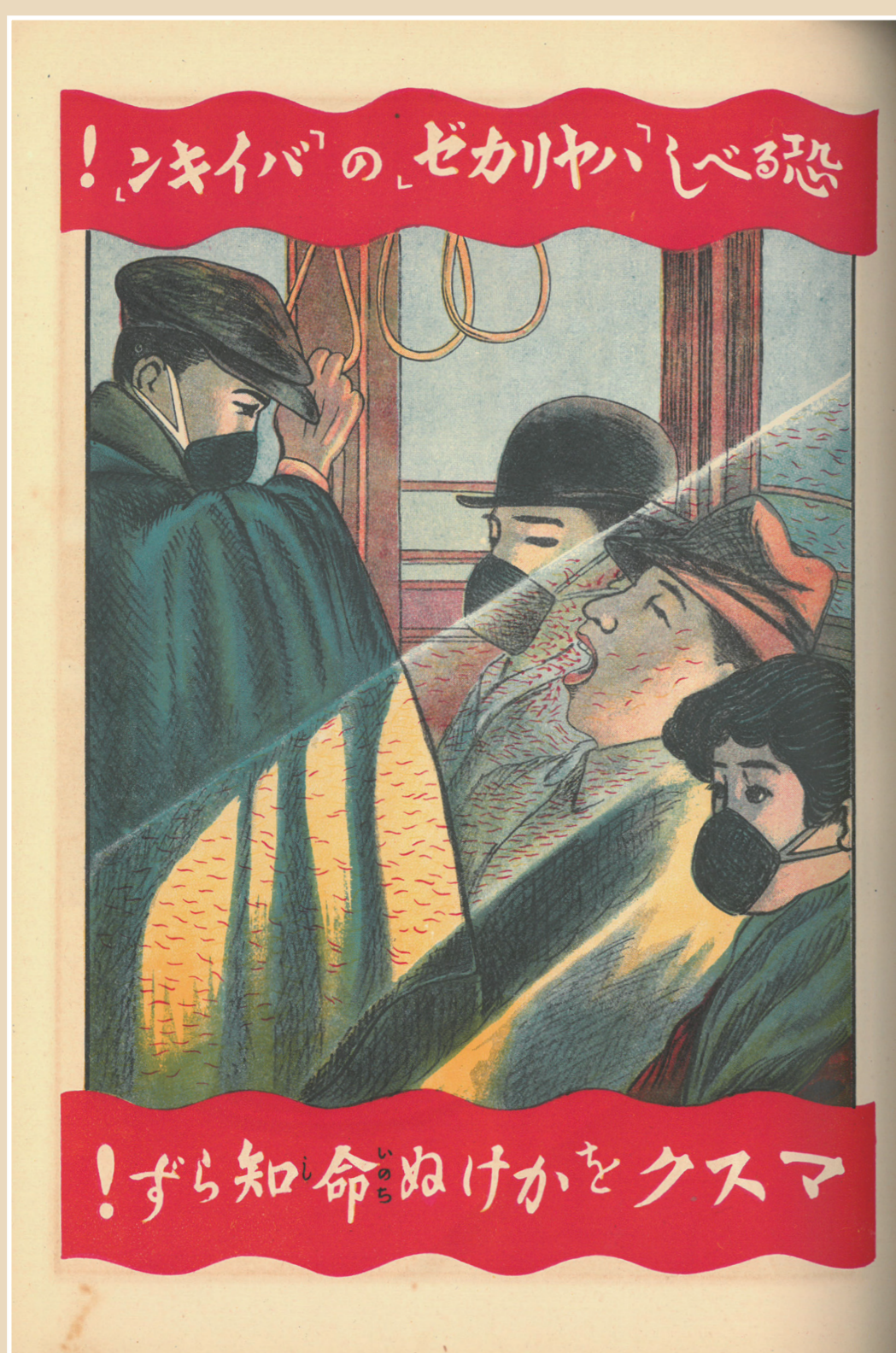
1918年秋、内務省衛生局は感染拡大の予兆をとらえ、感染拡大対策方針をまとめました。

内務省衛生局の感染拡大対策方針(要旨)

- 一般のマスクの使用を奨励し、マスクの入手が困難な者への給付を講じること
- 劇場等入場者や公共交通機関の乗客に、流行の状況により入場や乗車を禁ずること
- 流行地では多人数の集合を避けさせること
- 一般にうがいや予防接種を奨励すること
- 頭痛や発熱のあるときは速やかに医師の診断を受け静養することを周知
- 患者は自宅に隔離し、完治するまで外出を遠慮させることを周知

内務省衛生局「流行性感冒」1921年を要約したもの

内務省は一般への予防啓発用ポスターや標語カードを製作し、各都道府県に提供しました。



国立保健医療科学院図書館所蔵
内務省衛生局著. 流行性感冒. 1922.3.

▶ 当時の人たちの「同調圧力」は？

1900年当時は、病原体は解明されていませんでしたが、気道を侵す病原体が感染者のくしゃみなどで放出され、別の人に感染すると考えられていたため、人前での咳やくしゃみを控え、マスクを着用することが推奨されていました。

上の啓発ポスターにおけるマスクを着用していない人への周りの視線はどうでしょうか。